

浜松市認定農業者協議会 北支部 会員の皆様へ

拝啓 晩秋の候 諸兄におかれましては時下益々ご盛栄の段 お慶び申し上げます。

今年度からの浜松市認定農業者協議会北支部再編に伴う協議会とそれに続く新北支部設立総会、また今般 9 月 9 日の農地法に関する勉強会でも、大勢の会員の皆様のご参画を得て、“新生”北支部の今後に確かな手応えを感じております。

活動にご参画いただいている皆様には、書面にて恐縮ですが改めて感謝申し上げます。

さて、私と都田地区役員の宮司は、去る 9 月 6、7 日の 2 日間、浜松市認定農業者協議会三ヶ日支部の東京視察研修に随伴して参りました。

かねてより北支部の役員を務めてきた中で、認定農業者協議会発足以前の自立経営農業振興会として活発な活動を続けてきている旧引佐三町、特に三ヶ日町の方々の精力的な姿と組織の在り様を知るにつけ、役員として羨ましく思うと共に、自身の無能を思い知り恥じ入る気持ちを募らせておりました。

そんな折、認定協三ヶ日支部では毎年、農林水産大臣と農林水産省に赴き、直に政策提言を行い、現場に即した支援の要望をしていると教えられました。実際の活動を是非拝見したいと申し出た所、三ヶ日支部長の久米丈二氏より「おう、席空いてるで農水の官僚に言いたい事あるなら連れてってやるよ。」とご快諾を頂き、今回、三ヶ日支部の東京研修に同行させて頂いた次第です。

北支部の皆様にも是非その様子をお伝えしたいと考え、レポートに纏めた物を同封しましたので是非ご覧ください。

また、北区内の旧引佐郡地域を除く旧浜松市地域（滝沢町・鷺沢町・都田町・新都田・三方原町・根洗町・三幸町・豊岡町・大原町・東三方町・初生町）にも、農業を行う上で様々な不都合など、三ヶ日とは異なるこの地域特有の課題も数多くあります。

TPP 発効を控え農業情勢が厳しさを増す中、我々農業者が将来世代に渡り安定して経営を継続・発展していくには、認定協北支部も三ヶ日・引佐・細江を見習い活発な活動ができる組織に育っていかねばなりません。

そのためには、支部役員が三ヶ日支部の猿真似をしても意味がありません。北支部の皆様一人一人の課題を共有し、共に考え、解決していく形の活動を提案していきたいと思えます。

今後とも、認定農業者協議会北支部へのご理解、ご参画をよろしくお願い致します。

敬具

平成 28 年 11 月 1 日

浜松市認定農業者協議会北支部
支部長 鈴木 健次